令和８年度

１１月　こどもの森　だより

柳町こどもの森　　令和８年 10 月 30 日

園庭で広がる出会いの輪

副園長　野本　和美

園庭が完成して２か月がたちました。さわやかな風が吹く中、園庭で伸び伸びと遊ぶ子どもたちの笑い声が、毎日響いています。

初めは学級ごとに園庭に出て、遊具の使い方や約束を確認しながら使い始めました。次は学年で一緒に、そして他学年も一緒に、と広がってきました。今は、保育者同士が相談をしながら使い方を工夫し、園庭を共有して遊べるようになりました。日々、好きな遊びの中で様々な学級が混ざり合って遊びを進めています。

園庭で遊ぶ中、４歳児がダンスをしていたら、１・２歳児が横で一緒に体を動かし始めたり、サーキット遊びをしている１歳児に５歳児が手を添えて渡らせてあげたり、５歳児のリレーをみんなで応援したり…などなど。他学年と一緒に過ごす中での、様々な交流が生まれています。

今までも、お店屋さんごっこのお客さんとして保育室に来てもらったり、子どもたちが開く音楽会を聴きに来てもらったりと、保育者同士が様々な場面で異年齢の交流ができるように計画し、他学年と関われるようにしてきました。今回、互いが自分たちの好きな遊びをしている中で、いつでも出会える「園庭」が、さらに大切な交流の場になっていることを実感します。

これからも、保育者がしっかりと連携を図りながら、子どもたちにとって、有意義な交流経験となるように、他学年と関わる姿を支え、出会いの輪を広げていきたいと思います。

ピロティの床がふかふかで気持ちよいです

園庭やテラス、様々な場で遊べるように！